

## これだけは覚えよう！重要ポイント

中央値

データを並べたとき真ん中の値

奇数個

$$\frac{n+1}{2} \text{番目の値}$$

偶数個

中央2つの平均

**Q. 中央値とは？** データを小さい順に並べたとき真ん中に入る値。メジアンともいう。

## ① 中央値の意味

定義

データを大きさの順に並べたとき、中央に位置する値。

順に並べる → 真ん中

## ② データが奇数個

方法

n個のデータの中央値は(n+1)/2番目の値。5個なら3番目。

$$n = 5 \Rightarrow \frac{5+1}{2} = 3 \text{番目}$$

## ③ データが偶数個

方法

中央の2つの値の平均をとる。4個なら2番目と3番目の平均。

$$n = 4 \Rightarrow \frac{x_2 + x_3}{2}$$

## ④ 中央値の特徴

性質

極端な値（外れ値）の影響を受けにくい。安定した代表値。

外れ値に強い

## 💡 ミス回避のコツ

## ⚠️ 並べ替えを忘れる

✖

そのままの順で真ん中を見る

○

小さい順に並べてから探す

必ず大きさの順に並べ替えてから探す。

## ⚠️ 偶数個のとき1つだけ選ぶ

✖

4個のとき2番目だけ

○

4個のとき2番目と3番目の平均

偶数個のときは中央2つの「平均」をとる。

## 最終確認チェックリスト

- 中央値の求め方を理解したか？
- 奇数個・偶数個の違いを覚えたか？
- 並べ替えてから探すことを忘れないか？